

当院を受診した患者さんおよびご家族の方へ

研究課題「3 ポート腹腔鏡下胆囊摘出術におけるポート追加の予測因子に関する検討」（行徳総合病院倫理委員会受付番号 2025-08 番）

1. 研究の対象

当院で 2022 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの間に腹腔鏡下胆囊摘出術を施行された方。

2. 研究目的・方法・研究期間

腹腔鏡手術において、整容性と低侵襲性を求めてポート（腹腔鏡手術の際に鉗子などを挿入するための筒）の数を減らす reduced port surgery(RPS)が提唱されており、腹腔鏡下胆囊摘出術に関しても同様に全国で行われています。当院では標準的な術式よりも 1 つポートを減らし、3 ポート配置で行う RPS を基本としていますが、術中の視野確保や剥離操作の困難性からポートの追加を必要とする場合があります。ポートの追加を躊躇することは手術時間の延長や合併症のリスクを上昇させる可能性があり、術前にその必要性を予測する指標の確立は臨床的意義が大きいと考えます。本研究では、術前因子および画像所見に基づき、3 ポート腹腔鏡下胆囊摘出術におけるポートの追加を予測する因子を検討します。

カルテに記載された身体情報、既に施行された血液検査や CT 検査、手術記録の情報を解析します。新たに患者様に検査等を追加したりすることはありません。研究期間は承認日から 5 年間です。この研究は、当院倫理委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、身長、体重、採血データ、腹部 CT 検査データ、既往歴、薬剤情報、手術記録

生年月日、カルテ番号、住所、指名などの個人を特定するような情報は研究には用いません。収集した情報は、解析する前に指名・患者 ID などの個人情報を削り、新たな番号をつけ、匿名化します。

4. 研究組織

研究機関：業素行総合病院消化器外科

研究責任者：千葉 陽永

5. お問合せ先

本研究に関するご質問等は、下記連絡先までお問い合わせください。検査データが当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、【2026年3月31日】までに下記の連絡先まで連絡をお願いします。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合、承諾いただいたものとします。研究の成果は個人情報が伏せられた状態で、学会発表や学術雑誌等で公表させていただきます。医学の発展のため、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

連絡先：研究責任者 千葉 陽永

電話番号：047-395-1151 FAX：047-399-2422